

Special Report 『めざせ がんじゅ〜アイランド!』へ参画

介護予防応援団 池城 正浩



<http://ganjyu-island.com/>

今回、平成24年度介護保険制度の広報事業として依頼を受け介護予防応援団の一人として関わった中から私的な意見も含めて少し触れていきたいと思います。

我が国の高齢化が進み、介護が必要な高齢者の方々が増加しています。その中で、特に、要介護度が軽度の方（要支援1，2）が増加しています。軽度（要支援1，2）とは、「要介護状態までにはいかないものの、家事や身の回りの支度などの日常生活に支援を必要とする状態」の事を言います。そこで、イベントでは①介護保険制度を正しく知る事②上手にサービスを利用する事③元気に年を重ねるための体と健康づくりを若いうちから始める大切さについて知ってもらい、県民一人一人が理解を深めて頂けるように、沖縄本島をはじめ石垣島、宮古島といろいろな地域で発信してきました。イベントでは、沖縄を代表する芸人さんの介護予防オリジナルの演劇やコント、歌手のチアキ（しゃかり）さんの素晴らしい歌声と共に介護予防体操（ちゃーがんじゅ体操）を披露し、シンポジウムでは、介護保険制度やその仕組みや利用方法などを紹介しました。しかしながら、今回のテーマを実践するには、多くの人々の理解と協力が無ければ進みません。

これから将来、あなたは『寝たきり』にならずに、自力で食事や排泄が出来ますか。自分の意思を伝えられずに身動きできない状態が想像できますか。介護者となる家族にとっても、それは辛い事で、やがては肉体的に経済的にも疲弊して行くこととなります。人間は老化や運動不足などが原因で筋肉が衰え、立つことや歩くことが出来なくなり、寝たきりになってしまうのです。厚生労働省の国民生活基礎調査（平成22年度版）によると、65歳以上の人の要介護の直接原因（ほぼ“寝たきり”の直接原因）は、1位脳卒中（24.1%）2位認知症（20.5%）3位高齢による衰弱・老衰（13.1%）4位骨折・転倒（9.3%）5位関節疾患（7.4%）6位以下、パーキンソン病、心臓病、糖尿病、呼吸器疾患、ガン、と続き、この統計データで注目すべきなのは、このうち認知症と老衰は別にする、脳卒中（24.1%）を筆頭に、4位と5位を一緒にした骨折・転倒・関節疾患（16.7%）の大きくは2つの原因にまとめることができるのです。要介護の一步手前の“要支援”での原因別データで見ると、1位関節疾患（19.4%）2位高齢による衰弱・老衰（15.2%）3位脳卒中（15.1%）4位骨折・転倒（12.7%）5位心臓病（6.1%）6位認知症（3.7%） ※7位以下省略という結果で、1位と4位を合わせた骨折・転倒・関節疾患（32.1%）は他を圧倒する原因になっています。つまり、足・膝・腰の関節、下肢に問題を抱えていて『歩けない人』が寝たきりの原因の大部分を占めていることがわかります。

社会保障制度における介護保険料は右肩上がりです。誰かがやってくれるとは思わず、自らが行うことがとても重要になり他人事ではすまない状況になっています。我々理学療法士は何をすべきでしょうか？ これまでは、何らかの原因で身体に障害を持っている方や生活上、不自由さや不便さ感じて

いる方が対象となっていました。これからは介護予防という観点からその働きかけを強く意識し実践していくことが理学療法士に求められる使命になるだろうと感じさせられました。

介護予防を実践するには・・・“生活習慣の見直しが第一”

- 1) 沖縄の社会生活では『車は移動手段として生活から欠かすことのできないもの』それを活かすために駐車場の活用方法を考える・・・奥からの駐車移動（歩く）距離の拡大
(※入り口付近を空けることにより、高齢者や体の不自由な方の駐車スペースを確保)
 - 2) 介育の啓発・・・教育（学校教育の授業の中に取り入れる）、教習所などでモラル教育
 - 3) 介護保険料を負担している40歳以上に対し、ジョギングウェアやシューズ購入時に割引制度を設ける・・・自分達が支払っている保険料への認識の啓発
- 以上、私的な提案として！

キーワードとして使えないでしょうか？

介護 ⇒ 快護／皆護／介互
老老介護 ⇒ 老老支援



長寿県沖縄

転落！

数年前より、言われ続け 2013 年 3 月 2 日、ついにその日が現実となりました。都道府県平均寿命で本県の女性が 3 位（87.02 歳）に後退し調査開始以来へ初めてトップを明け渡し、男性は 30 位（79.4 歳）となりました。また

最近のデータによると都道府県別肥満比率が男女ともに沖縄県が全国 1 位を示しています。その背景として、①欧米文化の影響でファストフードの食事②車社会による運動不足③夜型社会で飲み屋店舗数が多い等々、様々な要因があると言われています。次に注目する点は、働き盛りの世代（男女とも 20 歳～64 歳の青壮年層）で脳出血、急性心筋梗塞、慢性肝疾患などの生活習慣病による死亡率が全国より高くなっている。その結果、働き盛りで亡くなる人の割合が『おば～やおじ～』の長生きを相殺してしまったという事です。

めざせ！「健康寿命」

世界保健機関（WHO）が 2000 年に提唱した新しい寿命の指標で日常的な介護に頼ることなく、心身ともに健康で暮らすことができる期間。一生のうち介護が必要だったり、日常生活に支障が出るほどの病気を患ったりする期間を除き、単に寿命を延ばすのではなく、健康に長生きすることを重視する考え方でされています。厚生労働省は、2010 年の統計では日本人の健康寿命は女性が 73.62 歳、男性が 70.42 歳であると 2012 年 6 月に発表した。「21 世紀における国民健康づくり運動」（健康日本 21、2013 年度から第二次スタート）では、健康寿命を延伸して平均寿命との差を縮め、介護に頼らず、長く健康に暮らすことを目指したいものです。

☆平成 24 年度第 2 回定時総会開催☆



公益社団法人沖縄県理学療法士協会平成 24 年度第 2 回定時総会が平成 25 年 3 月 18 日（土）、てだこホールで開催されました。

平成 25 年度事業計画、収支予算案が承認されました。また、本総会では平成 25・26 年度役員選挙の報告があり、14 名の理事と監事 2 名が選定されました。総会は一旦中断し、その間に臨時理事会が招集・開催され、会長には池城正浩氏、副会長には小嶺衛氏、神谷之美氏が選出され、総会での報告がありました。

新理事に決定した皆様からは今後の抱負について挨拶があり、我々の沖縄県理学療法士協会のために尽力して下さることだと思います。会員の皆様も是非ともご協力をお願い致します。また、今回、残念ながら退任される 3 名の理事の方にはこれまでの功績を労い、敬意を表するとともに、これからは一会員として活動していただけるものと思います。取材：宮里宗忠（広報部長）、池間裕輔（広報部）



左から 山城忍理事、久高将臣理事
金城良和理事、神谷喜一理事（欠席）



退任する比嘉憲彦理事、仲本哲理事、仲西孝之理事



上列左から玉城義彦理事、古堅貞則理事、与儀哲弘理事、立津統理事、運天智子理事
下列左から山城忍理事、城間定治理事、神谷之美副会長、池城正浩会長、小嶺衛副会長、
金城良和理事、久高将臣理事
（普天間順一理事・神谷喜一理事は欠席）

研修報告

「貴方の想いをカタチに、そのアイデアをだしてみませんか？」

-県民生活の向上に繋がるイノベーション-

講師：山内 義崇氏 (沖縄 TLO)



平成 25 年 3 月 16 日、平成 24 年度第 2 回定時総会に合わせて、山内義崇さんを講師にお迎えし、事業内容についての研修会を開催していただきました。

山内さんの所属する沖縄 TLO では、産学連携推進事業の一環として県民の抱いているニーズと企業や大学が持っているシーズ(有用性のある知的財産やノウハウ)を繋ぎ、新たな商品やサービスの開発を行っています。しかし、沖縄では健康や介護福祉事業に対する意識が低く、企業に関しても新たな商品開発に手を出せていないのが現状です。私達、PT・OT・ST 等の医療現場の当事者がアイデアや困っている事を出し合うことで、企業にとっては新たな商品を製作するきっかけとなり、私達

にとっては新たな自助具・補助具等を患者さんに提供したり、新たなリハ分野の可能性の道が開けるのではないかと感じました。皆さんはドラえもんを見て「～があれば…」「～が欲しい！」なんて思ったことはありませんか？ 私達には出来ない事も何処かにそれを叶えてくれる人がいるはず！皆さんも山内さんを通じて自分のアイデアを形にしてはどうでしょうか？(取材：広報部 宮里・池間)

会員活動紹介 (八重山ブロック)

八重山ブロック広報担当 星野宗勳 (いしがき太陽の里)

2012 年度第 5・7・9 回新人教育プログラム研修会を、2 月 17 日、24 日、3 月 3 日にかりゆし病院で開催しました。



八重山にて開催される新人教育プログラム研修会も今年で 4 年目を迎え、最短 1 年で修了可能な新制度の下、3 月 3 日の必須研修講義では池城会長、神谷副会長に直接講義して頂くなど、八重山ブロックにおける新人教育プログラムも年々その内容は充実してきております。新人教育はその施設や地域のリハビリテーションの基盤構築にあたって重要なテーマであり、また、安心して新人が就職できる環境作りがマンパワーの確保には欠かせません。離島医療を考える時、この新人教育の充実度に課せられる責任は大きいものと認識し、より一層の充実を図ってゆけるようブロック活動にも励んでゆきたいと思えます。

[受講者の声] ヒデ整形クリニック 土井一樹

今回、特別講師として沖縄県理学療法士協会会長の池城正浩先生に來島して頂き講習をして頂きました。私は「リスクマネジメント」と「人間関係および接遇」を受講させていただきました。一見堅苦しく緊張感のあるイメージでしたが、池城先生の講習は笑いあり、涙あり、がんじょう体操ありの、あっという間の 2 時間でした。印象深かったのは、「リスクを事前に防ぐ対策とそれに向き合う全スタッフの意識と姿勢が大切であり、誰もミスが犯すが、その経験を共有しやすくする環境づくりも同時に重要なことである。」という言葉でした。これは目の前にいる患者さんに起こっている現象をどう解釈しどう治療に繋げ、どのように結果を出していくのかという臨床にも共通しているように感じます。今回の講習で学んだことを今後の臨床にも役立てていきたいと思えます。

八重山ブロック広報担当 星野宗勳 (いしがき太陽の里)



2013 年 3 月 17 日に八重山ブロックトピックス研修会がかりゆし病院にて開催されました。トピックス研修会では午前中に古謝早苗先生に「高齢者の理学療法」というテーマで、午後からは末吉恒一郎先生に「神経疾患の理学療法」というテーマでそれぞれ実技も交えながら貴重な講義をして頂きました。

トピックス研修会として沖縄本島より講師を招いて講義頂くのも昨年度が始まりであり、離島のセラピストと沖縄本島のセラピストの交流の場としてとても貴重な場であると感じております。八重山ブロックのセラピスト達がこの機会を良い刺激とし、今後の臨床での活力、実践力へと変えてゆくことを望みます。





〔受講者の声〕 かりゆし病院 平野 由香里

今回の八重山ブロック勉強会では、沖縄本島より古謝早苗先生、末吉恒一郎先生にお越しいいただき、貴重なご講義をしていただきました。

古謝先生のご講義では、生活環境支援をテーマに在宅方面で働く PT の役割や福祉用具の選定、住宅改造の実際など先生の経験談を交えてお話していただきました。病院で働くスタッフは退院された後の患者様の在宅生活を把握し辛く、私自身もとても興味があつた事でもあるので、実際を知ることができ、今後の課題が見えたように思います。

末吉先生のご講義では、片麻痺者の姿勢・運動制御をテーマにそのシステムや捉え方、評価・治療の方法を、実技練習を交えてお話していただきました。姿勢は運動に必ず随伴するものであり、片麻痺者が特有な姿勢戦

略を行っている意味を理解することが重要であると感じることができました。実技練習で教えていただいた評価や治療方法を実際の臨床場面で少しでも活かしていければと思います。今回お越しいいただいた先生方のご講義は、それぞれ内容が全く異なるものでありましたが、いろんな現場で活躍されている PT の目線や実際を知ることができ、自分自身の視野が広がったように思います。貴重なご講義ありがとうございました。

理事会報告

※ 本誌頁数増加に伴い、理事会議事録を今月号から理事会報告とします。詳細については今後、ホームページに掲載する予定ですのでしばらくお待ちください。それまでの期間は事務所までお問合せください。

〔平成 24 年度第 12 回 理事会〕

日 時:平成 25 年 3 月 13 日(水) 19:00～21:15 場所:翔南病院会議室(沖縄県沖縄市山内 3-14-28)

〔審議事項〕

第 1 号議案 入会の承認に関する件(事務局)

議案内容	【入会申請者】 ① 申請用紙からの申請…1 件 ②HP からの申請…0 件 計 1 件	
	【会員動向】平成 25 年 3 月 12 日現在 会員数: 1223 名 施設所属会員数: 1125 名 自宅会員数 98 名 会員所属施設数: 221 施設 〔期間会員動向〕平成 25 年 2 月 14 日～3 月 12 日※住所変更・改姓のみの届け出は含まず 異動: 11 名(県内: 8 名 他都道府県→県内: 2 名 県内→他都道府県 1 名) 休会: 3 名 退会: 0 名 復会: 0 名	
審議結果	全会一致で承認 担当局: 事務局 担当部: 総務部	

第 2 号議案 地域から「医・食・住・環境」再生をめざす沖縄シンポジウムについて(事務局)

議案内容	沖縄県民主医療機関連合会より、沖縄の将来を展望する「地域から「医・食・住・環境」再生をめざす沖縄シンポジウムについて後援・協賛の依頼が届いています。ご検討を宜しくお願い致します。	
審議結果	全会一致で後援を可とする。 協賛団体は辞退するが、広報については実施。 担当局: 事務局 担当部: 総務部	

第 3 号議案 発行物(広報誌) 発送先について(事務局)

議案内容	これまで広報誌は施設単位で郵送し、基本的に 1 部(1 冊)を発行していた。(会員数の多い施設では数冊同封)しかし、本来であれば各会員へ発送しなければならないが、コストや作業の効率化を理由に上記の対応であった。 今後は会員への情報提供の充実を図るため、各会員への発送としたい。ご審議をお願いいたします。	
審議結果	保留。継続審議。 提案内容の予算はかなり厳しい。ホームページリニューアルを控えているので他の広報手段を整備した上で検討する。 担当局: 事務局 担当部: 城間定治	

事務局便り

会員登録について

平成 24 年 4 月から会員の皆様の入会・退会・休会・復会・異動の申請が Web 上（インターネットを利用）でできるようになりました。「日本理学療法士協会ホームページ→マイページ」へログインして下さい。

※ ID・パスワードは各自の通知ハガキをご覧ください。登録内容は上記の「マイページ」からご確認いただけます。

■ ■ 事務所電話対応時間変更のお知らせ ■ ■

これまで事務所の電話受付時間は 9:00～15:00 でしたが、4 月から下記受付時間に変更になります。
※ 外部機関への外出時には不在となり、電話を受け取ることができない場合がございます。ご理解の上、再度おかけ直してください。【電話受付時間】9:00～18:00（月～金曜日・土日祝日は休み）

■ ■ 要注意 ■ ■

異動申請 お手続きをお願いします！

新年度に伴い異動なさる会員も多くなります。勤務先、自宅、氏名など会員情報に変更になった際は、速やかに会員情報の変更申請をお願いします。お手続きは「マイページ」から、お早めをお願いいたします。

会費納入について

これまで利用していたニコスカードは会費決済には利用できません。まだの方は下記の申込み先から申込みをお願い致します。

※楽天カードへ入会していないと会費の引き落としができません。楽天カードの申込みを再度ご確認ください。

会費納入について

楽天カードによるクレジット決済か口座振替となっております。日本理学療法士協会より送付されるコンビニ振込用紙：会費未納者に対して送付されています。使用期限にご注意下さい。

会費に関する問合せ

沖縄県理学療法士協会財務担当理事：運天智子（沖縄小児発達センター訓練課所属）

E-mail：optazaimu@gmail.com



ブロック担当部・福利厚生部からのお知らせ

中部ブロック新人異動会員歓迎会～in 南国ダイニング クロコダイル～

平成 25 年 2 月 15 日に北谷のクロコダイルにて新人異動会員の歓迎会を行いました。池城会長の挨拶に始まり、その場の全員の自己紹介、ジェンガ、そして罰ゲーム・・・
店員：「当店の裏で取れたばかりの新鮮な虫ですよ～♪」
って、虫は食べないですよ！ 普通は!!そんな、いたずら大好きな池城会長、立津理事の計らいで楽しい歓迎会となりました。新しいメンバーも含め、これからも全員で中部ブロックを盛り上げていきましょう！



南部ブロック新人異動会員歓迎会～in 和民～



南部ブロックの歓迎会が総会後に開催され、大いに盛り上がりました。この日は新理事も駆けつけ、新人と新理事というフレッシュな雰囲気でした。もうとっくに暑いのに鍋を囲み、熱いトークで新人会員を歓迎しました。次年度も開催しますので皆さんもぜひ参加してください。

平成24年度新人・異動会員オリエンテーションのご案内

事務局 総務部

下記の日程で平成24年度新人・異動会員オリエンテーションが開催されますのでご案内申し上げます。理学療法関連部署の部署長（責任者）の皆様には対象者への案内と勤務調整などご高配いただきますようお願い申し上げます。会員の皆様には改めてご案内申し上げますのでご確認くださいませようお願いします。

日時：平成25年4月27日（土）18：30～（受付18：15～）

場所：てだこホール 市民交流室

対象：平成25年度新規会員、入会予定者、他都道府県からの異動会員



沖縄県理学療法士協会スケジュール 2013年4月・5月・6月

4月

- 10日（水） 平成25年度第一回理事会
- 19日（金） 広報誌原稿締め切り
- 27日（土） 新入・異動会員説明案内会（新人異動会員オリエンテーション）

5月

- 8日（水） 平成25年度第二回理事会
- 19日（日） 広報誌原稿締め切り
- 24-26日 第48回日本理学療法学会（名古屋）

6月

- 12日（水） 平成25年度第三回理事会
- 19日（水） 広報誌原稿締め切り

第6回言語リハビリ交流のつどい サポーター募集

第6回言語リハビリ交流のつどいが下記の日程で開催されます。当協会も実行委員会構成団体となっています。今回、大会の開催にあたりサポーターを募集致します。会員同士、声を掛け合い奮ってご応募ください。

事業期日：平成25年6月8日・9日 場所：沖縄コンベンションセンター会議棟・ラグナガーデンホテル

申込期間：平成25年4月1日～5月8日

申込方法：E-mail で件名を「サポーター応募」とし、本文内に①氏名、②所属、③会員番号、④連絡先電話番号、⑤希望日を入力の上、optaoffice@yahoo.co.jp まで送信して下さい。

	懇親会	つどい当日
募集人数	10名	20名
日時	6/8(土) 16:30 集合 20:30 解散	6/9(日) 8:30 集合 16:00 解散
場所	ラグナガーデンホテル 2F「羽衣」	会議棟 A
内容	参加者の席誘導、トイレ誘導・介助	会場誘導(車から会場、受付から会場内座席)、トイレ誘導・介助、舞台係、駐車場係
服装	動きやすい服装	
その他	・懇親会のサポーターに来られる方は、飲み物・軽食を準備しております。 ・つどい当日サポーターに来られる方には、お弁当があります。	

沖縄県理学療法士協会 研修会案内

通所リハ情報交換会のお知らせ

【開催概要】

主催：沖縄県理学療法士協会 通所リハ推進部

日時：平成 25 年 4 月 10 日（水） 19：00～

場所：ちばなクリニック 4 階 通所リハビリ室 沖縄県沖縄市知花 6 丁目 25 番 15 号

* 駐車場はちばなクリニックまたは中頭病院をご利用ください。

内容：○各事業所で困っている点や取り組み報告

○介護報酬についての意見交換

○施設見学(開催事業所) * 症例検討会や勉強会の形式ではありません。

参加費：無料

平成 25 年度も定期的な情報交換会を開催する予定です。今回は年度開始時期となりますので、テーマを絞らず様々な情報交換の場として開催いたします。

【申し込み方法】

下記の内容を記載の上、メールにてお申し込みください。

①氏名 ②所属先 ③職種 ④臨床経験年数 ⑤通所リハビリ経験年数

申し込み先：oki.pt.matsunami@gmail.com

問い合わせ先：宜野湾記念病院 理学療法士 松並健治宛 TEL：098(893)2101

締め切り：平成 25 年 4 月 8 日（月）

* 当日お聞きしたい質問等があれば事前申し込みの際に記載してください。

日本理学療法士協会主催 研修会案内

平成 25 年度 教育・管理理学療法研究部会研修会について

研修会テーマ：臨床実習指導方法について 基本編

主催：日本理学療法士協会

日時：平成 25 年 4 月 6 日（土）14：00～17：30（受付 13：00～）

4 月 7 日（日） 9：00～12：00

内容：臨床指導に関する講演 慶應義塾大学 小林 賢 先生

ワークショップ グループに分かれてテーマを基にディスカッションする

会場：宮崎リハビリテーション学院 3F 教室 5・6

対象：原則として日本理学療法士協会の会員であること

定員：100 名程度

会費：会員 2000 円 非会員 10000 円（他職種の方は直接お問い合わせ下さい）

申し込み方法

3 月初旬に日本理学療法士協会のホームページにアップされる予定です。マイページにログインしていただき、「研修会管理」の「受講申込登録」画面から、「臨床実習指導方法について 基本編」というセミナー名称を検索して登録してください。アップされる以前に申し込みたい方は、E-mail にて「宮崎リハビリテーション学院 担当：大寺」にご連絡ください。登録が可能になり次第お知らせします。

(E-mail：kenichirou_oodera@junwakai.com)

締切：平成 25 年 3 月 29 日（金）

他団体 研修会案内

第 18 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会

主催：日本ペインリハビリテーション学会 大会長：沖田 実（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）

会期：平成 25 年 8 月 31 日（土）～9 月 1 日（日）

開催場所：九州ビルディング 9 階大ホール（福岡県福岡市博多区博多南 1 丁目 8-31）

テーマ：「痛み医療におけるリハビリテーションの可能性」演題募集期間：平成 25 年 4 月 15 日～6 月 16 日

【内容】

チーム医療の考え方を基礎として発展してきたリハビリテーションが、集学的・学際的治療が必須となってきた痛み医療の診療体系の中でどのような役割を担い、また果たすべきか、その可能性について議論します。

【プログラム】

基調講演「痛み教育の現状と課題」：沖田 実 先生

特別講演「神経科学に基づくリハビリテーションアプローチ」：住谷昌彦 先生

シンポジウム：「慢性痛医療の最前線ーチーム医療の各領域からー」：
池本竜則先生「運動器外科の視点から」 細井昌子先生「心療内科の視点から」
川久保宏美先生「看護の視点から」 松原貴子先生リハビリテーションの視点から」
その他：教育セミナー，ケースディスカッションなど

【参加費】 会員 7000 円， 学生 3000 円， 非会員 10000 円

【ホームページ】 <http://japr.kenkyuukai.jp/>

【お問い合わせ】 大会事務局第 18 回日本ペインリハビリテーション学会学術大会事務局中野治
TEL / FAX : 095-819-7919 E-mail : nakano-j@nagasaki-u.ac.jp

沖縄の将来を展望する地域から「医・食・住・環境」再生をめざす沖縄シンポジウムについて

日時：2013年4月14日（日）13：00～16：30

場所：南風原中央公民館

開場 12：00 開会 13：00（参加費無料）

広報部便り

ホームページリニューアル

平成 24 年度に進めてまいりましたホームページのリニューアルが最終調整段階です。近日中にリニューアルする予定ですのでご期待です。今回は会員の皆様にタイムリーな情報が提供できるようにメール配信システムなども予定されています。

研修会案内の掲載について

本誌へ研修会案内を掲載したい場合は、依頼についての文書（例：研修会案内の掲載についてのお願い）を当協会事務局まで郵送していただきますようお願いいたします。掲載の可否については当会の事業目的に照らし、判断いたします。尚、毎月 10 日までに文書確認できれば翌月号へ掲載となります。

★掲載内容は概ね 300 字を目安としています。これまで掲載されていた研修も文書の発行をお願い致します。

【研修案内に関する問い合わせ】 沖縄県理学療法士会事務所

098-930-5023（月～金曜日 9：00～18：00 担当：瀬底） optaoffice@yahoo.co.jp

平成25年度 理学療法教員募集

琉球リハビリテーション学院では
“い・き・る” 意思を引き出す専門家を、
「い・き・る 支援職人」と呼んでいます。
沖縄の海と緑、そして「人間の温もり」の中で人生を面白くする
「い・き・る 支援職人（プロフェッショナル）」を一緒に育てましょう。
(学院長 藤原 茂)

- 募 集 職 種 : 理学療法士(経験年数5年以上で教育分野に興味がある方)
- 募 集 人 員 : 若干名
- 雇 用 形 態 : 常勤
- 施 設 概 要 : 理学療法学科(昼間部・夜間部)
作業療法学科(昼間部・夜間部)
柔道整復学科 社会福祉学科
- 給 与 ・ 待 遇 : 当法人規定による(実務経験考慮)
各種社会保険完備
各種手当(通勤手当
単身用職員寮入居可等)
研修会参加制度有り
- 勤 務 時 間 : 8：45～17：45(昼間部)
19：00～23：00(夜間部)
※勤務時間に関してはご相談に応じます。
- 休 日 休 暇 : 完全週休2日制(日・祝祭日、他週1日)
- 応 募 方 法 : まずは電話にてお問い合わせ下さい。
求人担当直通：080-6493-2370
固定電話：098-983-2130
- 担 当 者 : 事務長 渡部

学校法人 智晴学園 沖縄県認可の専修学校/厚生労働大臣指定の養成施設
専門学校 **琉球リハビリテーション学院**
RYUKYU REHABILITATION ACADEMY
沖縄県国頭郡金武町字金武4348-2 金武インターより車で3分 www.ryukyu.ac.jp